



## 2024 JR総連春闘勝利！シリーズ③

# 「そのような考えはない」に終始！ 会社は社員の要求に応えよ！ 2024春闘第2回団交

本部は本日、2024年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れについての第2回団体交渉を開催し、会社から申し入れに対する回答が示されました。

会社回答は「そのような考えはない」の繰り返しでした。会社は、第3四半期決算では連結で3,187億円もの利益を計上し、通期の業績予想を3,300億円に上方修正しました。また、年末年始輸送量は前年比108%（2018年比101%）となり、コロナ禍前までに回復をできています。これは、私たちが要求している賃金引き上げや労働条件改善が充分できる経営体力であるということであり、要求を拒む理由はないということです。

自動車業界などは、軒並み満額回答が示されました。世間では、昨年よりも上回る回答が相次いでいます。JR東海においては、昨年のベアは極わずかの1,000円で、世間相場を大きく下回り、格差が拡大しました。会社は、純ベア1,000円をオブラートに包み、「基準内賃金を7,200円引き上げる」と発表したことから、「ください」「イカサマ」「インチキ回答」などの意見が職場で相次ぎました。今年は、このような詐欺的回答を許さず、満額回答に向けて、本部は会社を追及していきます。

一方、低額回答を支えたのが、言うまでもなくJR東海ユニオン指導部です。今年も連合の目標を下回る要求を出しました。本来なら、実損回復をすべきところ、労働運動の足を引っ張っているのです。JR東海ユニオン組合員の皆さん、要求を抑える労働組合にいるメリットは何もありません。

会社は、今年も賃上げを極力抑える言い訳に終始しています。これは、背景にリニア建設があるからです。夢ではなく悪夢であるリニアから撤退すれば、労働条件も賃金も改善されること間違いなしです。